

## 動画上映会「しがエネルギームーブメント！」

### 参加者アンケートまとめ

◆アンケート回答者 74名／参加者 101名（スタッフ含 106名）

#### 1. 住まい

県内 65（大津 33、彦根 2、長浜 2、近江八幡 5、草津 6、栗東 2、甲賀 1、野洲 2、湖南 2、高島 2、東近江 2、米原 2、日野 1、その他 3）

県外 8（岐阜県 1、京都府 1、大阪府 4、兵庫県 2） 未記入 1

#### 2. 職業

会社員 33（行政・教育 8、建設 5、製造 4、エネルギー（電気・ガス） 4、販売 3、商社 1、メディア 1、未記入 7）

その他 28（自営 3、団体職員 11、主婦 4、学生 5、無職 5） 未記入 13

#### 3. きっかけ（複数回答あり）

①県ホームページ 8

②Facebook イベントページ 23

③チラシ 14（商工会議所、生活協同組合連合会、建築士会、防災カフェ等）

④メルマガ 6（滋賀GPN、水素研究会、温対センター、しがしらメール、産業支援プラザ等）

⑤その他 23（甲賀市工業会、知人、新聞、環境保全協会、関西小水力、大学HP等）

⑥未記入 5

#### 4. 上映会の内容（充実度）

①大変良かった 44

②良かった 27

③どちらともいえない 0

④良くなかった 0

⑤未記入 3

#### <理由>

①大変良かった

- 色々な取組を聞くことができ良かった（滋賀、会社員）
- 自然のエネルギーを活用することの大事さを痛感し、自分にできることを真剣に考えて実行したい（滋賀、無職）
- 県内の取組を知ることで、自分たちの活動のヒントがたくさんあった（滋賀、主婦）

- エネルギーの地産地消のことを知りたかったので、良く分かった（滋賀、未記入）
- 全部見て、時代がこういった流れになってきたと分かった（滋賀、未記入）
- 県全体の主要なエネルギー（活用・改善）の取組が映像で分かりやすかった。このムーブメントを周囲に広めたい（滋賀、団体職員）
- 一部知っていたが、たくさんの取組が分かって大変良かった（滋賀、会社員）
- まとめて見ることができて良かった。内容・中身が多岐にわたることが、改めて分かった（滋賀、会社員）
- 知らないことを一度に知ることができた（滋賀、会社員）
- 担当者の努力に感謝（滋賀、会社員）
- 6月から現職場に就いたところで、大変勉強になった（滋賀、団体職員）
- 一つ一つの取組が素晴らしく、コンパクトにまとめてあって、分かりやすかった（滋賀、団体職員）
- 全編を通して初めて見て、新たな気付きもあり勉強になった。コメンテータの説明やナレーションも分かりやすかった（滋賀、団体職員）
- 分類ごとに分かれていて、また分野内で共通することが多いので、理解しやすかった（滋賀、メディア）
- 1本が5～6分で見やすくなっている（大阪、エネルギー）
- 動画で見ることで、全てが伝わってくる（大阪、エネルギー）
- 持続可能な社会を維持していくためには、ベース電源と分散エネルギーをバランスよく活用していくことが重要。エネルギーと環境の問題は難しいが、きっちり方針を持つべき（滋賀、会社員）
- 省エネ・創エネの取組事例が映像で紹介され、非常に参考になった。もっと事例を紹介してほしい（滋賀、団体職員）
- エネルギー事業が地域住民や企業、学校に広がっていることは素晴らしい。色々な分野のエネルギー事業があることを認識した。原発に依存しない強い意志と行動力を感じた（兵庫、会社員）
- 各地各所の色々な取組が具体的に分かった（滋賀、団体職員）
- 先進的な事例を1回で確認できた（滋賀、会社員）
- 滋賀県でこのような取組がされていることを知らなかった。自分でも取り組めそうな事柄もあり、参考になった。全国に発信すべき（滋賀、会社員）
- 大変おもしろかった。滋賀に住んでいるのに、知らないことばかりだった。厳選して短めの上映会でも良かったと思う（滋賀、会社員）
- 良くまとまっていた（滋賀、行政・教育）
- 省エネに取り組む企業が増えている事実を知ることができた（滋賀、学生）
- 滋賀県内の活動が分かった。エネルギーを考えることで、環境・経済・福祉にも繋がることが認識できた（滋賀、団体職員）
- TV放送は知っていたが、見られなかったので有意義だった。出演者と話ができ良かった（滋賀、無職）

- 県内各地の様々な取組が知れて良かった。自分の生活にどう繋ぐかが課題（滋賀、主婦）
- エネルギーについて勉強して家庭に採り入れ、人にも伝えていきたい（滋賀、会社員）
- 全編まとめて大きな画面で見ることができ、良かった（滋賀、行政・教育）
- 滋賀のエネルギーに関する取組が短時間で体系的に把握することができた（滋賀、エネルギー）
- 動画はすべて参考となった。活動の参考にしていきたい（滋賀、団体職員）
- 初めて見て、こんなに活動しているのかと思った（滋賀、無職）
- 滋賀県内の取組をまとめて見ることができた（滋賀、未記入）
- 具体的な事例紹介の番組で興味深かった（滋賀、団体職員）
- 他の参加者と話ができ良かった（滋賀、未記入）
- 身近な事例が紹介されており、自分も参加しやすい、取り組みやすいと感じた（大阪、エネルギー）
- 県内でこれほど様々な取組があることに驚いた。見学に行きたいところがたくさんあった（滋賀、未記入）
- 滋賀県でたくさんの取組があることに驚いた。エコは手間とコストがかかるイメージがあったが、イメージがひっくり返った（滋賀、主婦）

## ②良かった

- 企業の環境担当として、見聞を広げようと思った（滋賀、会社員）
- 各方面で色々な努力をしているのがよく分かった（滋賀、パート）
- 信楽焼の加湿器を買いに行こうと思う（滋賀、自営）
- 色々な事例が県内で行われていることが分かった（滋賀、会社員）
- 動画がテンポ良く、分かりやすい。もう少し長めでじっくり見たい（滋賀、行政・教育）
- 多くの事例の紹介で、有意義だった（滋賀、団体職員）
- 各方面の事業者・団体の活動の紹介が大いに参考になった。知識を深めることができた（滋賀、無職）
- 滋賀県が地球環境にこんなにも取り組んでいることを知った。もっと発信していきたい（滋賀、会社員）
- 廃食油が利用されていることを知らなかった（滋賀、会社員）
- 取組内容を把握できたことは良かった（未記入）
- エネルギーの取組を多分野に亘って掘り下げて取り上げてあり、とても分かりやすかった（滋賀、会社員）
- 再生可能エネルギーの取組がたくさんあることが分かった（滋賀、会社員）
- 社会・環境・経済の調和した、未来に繋がる発展が必要と感じた（滋賀、会社員）
- 県内の取組を知ることができて良かった。琵琶湖の水草問題がまだ実験段階とは・・・（滋賀、団体職員）
- 評価に見合ったから（滋賀、学生）

- 分かりやすかった。滋賀県はエコ活動がしやすい場所とわかった（兵庫、学生）
- 様々な取組が知ることができて良かった。滋賀全体でエネルギーシフトしていくと良いと思った（滋賀、主婦）
- 地域や市民活動は初めて知るものばかりで、勉強になった。この動画で活動の認知が広がればと思う（滋賀、会社員）
- 多くの取組を知ることができた。意見交流会で交流したことで、より参加できたと感じた（岐阜、学生）
- 滋賀県内の事例を知ることができてよかった（滋賀、学生）
- こういった機会がないと、まとめて見なかった。上映中メモを取りたかったので、少し明かりがあると嬉しかった（滋賀、行政・教育）
- それぞれの地域の特徴を活かして、様々な取組がされていることが分かった（滋賀、未記入）
- 一つ一つ地道の活動が、今後発展できたらと思う（滋賀、未記入）
- エネルギーだけでなく、福祉・まちづくり・健康など多様な大切なものがあって良かった（滋賀、行政・教育）
- 県内の取組を知ることができ、自分も身近なところから取り組んでいきたいという気になった（滋賀、行政・教育）
- それぞれのトピックが分かりやすく作られていて、理解しやすかった（大阪、会社員）

#### （その他）

- 滋賀県ならではのユニークな取組（琵琶湖里湖循環、イモ発電など）があり、これからの省エネ、創エネの取組の参考になった（京都、無職）
- 滋賀県発のものがたくさんあることが分かった。カテゴリに分かれており、分かりやすかった（滋賀、未記入）

#### 5. 新しいエネルギー社会の実現に向けてどのようなことが必要か（自由記入）

- ✓ 地域の活性化とエネルギー資源としての活用のための林業の活性化（滋賀、会社員）
- ✓ エコ・エネルギーは未来の子供達のために取り組む必要がある。再エネの普及に努力するつもり（滋賀、会社員）
- ✓ 再エネの普及に努力するつもり（滋賀、会社員）
- ✓ 限りある資材を無駄にしないことを、個々人で実行していくことが必要（滋賀、会社員）
- ✓ エネルギーを使わなくても生活できるようになれば良い（滋賀、自営）
- ✓ 産官学の協働+国の補助金など、縦割りから横割りにすること（滋賀、会社員）
- ✓ コストと理念のバランスがあって、これからは資本主義社会の中で生き残れるよう、コストファーストで省エネルギー社会の実現を目指すことが大切。テクノロジーで解決を目指す雰囲気をつくり出していく良いと思う（滋賀、行政・教育）
- ✓ できることから少しずつ協力し合って進めたい（滋賀、主婦）

- ✓ 人の考え方、意識改革（滋賀、未記入）
- ✓ 省エネ、エコ、環境への配慮を意識していくこと（滋賀、未記入）
- ✓ 滋賀県域への発信も大切であるが、シンボリックな企画を期待。環境、経済、社会の連結であり、今後は琵琶湖環境部等との連携が不可欠（滋賀、団体職員）
- ✓ 地球温暖化防止に向けて、自分に何ができるか。気軽に継続してできることをやるのが大事（京都府、無職）
- ✓ 脱エネルギーは自然エネルギーへの転換（滋賀、無職）
- ✓ 環境にやさしいものを無理なく、生活の中で選択していける仕組みづくり（滋賀、未記入）
- ✓ 自分なりの立場で、粘り強く継続してエネルギーの大切さを伝え、実践したい（滋賀、団体職員）
- ✓ 必要対効果。地域の一定の範囲に効果があること（滋賀、会社員）
- ✓ 「自分ごと」として向き合えるか。原発の是非（滋賀、会社員）
- ✓ 地域住民の意識を高める。意識のある人の繋がりをつくる。SDGsゲームの普及。自分の会社でしてみたい（滋賀、会社員）
- ✓ 原発に依存しない、再生可能エネルギーの開発（滋賀、会社員）
- ✓ 県民全員が納得、参加できるようなプロジェクト。道路鉄道網を整備し、エコ自動車（バス・タクシー）や電動自転車（太陽光発電）の行き交う町づくりはどうか（滋賀、団体職員）
- ✓ 実際の現場を視察できるようなオープンな研修等（滋賀、未記入）
- ✓ 自分たちが生きる社会は自分たちでつくる。この想いを大勢の人で共有できる運動をし続ける。国や大手電力会社などに対して声をあげていくこと（滋賀、会社員）
- ✓ 単体でできないことや資源の有効的活用、知識や人材も含め企業や行政、団体との協働・ネットワークによる連携が大切（滋賀、団体職員）
- ✓ 今のエネルギー社会を知ることが大事。まず自分が現状を知ることが大切。その上で、自分ができることを人に伝えたり、知ってもらえるよう努力していきたい（滋賀、メディア）
- ✓ 知って、伝えていくことをしたい。建築で社会に貢献したい（滋賀、会社員）
- ✓ 自治体と事業者の連携・協力（大阪、エネルギー）
- ✓ 地産地消を基本に地域との繋がりを大事にし、新しいエネルギー社会を実現してほしい。今後も継続を期待（大阪、エネルギー）
- ✓ 各取組としては良いが、その地域だけで終わっている感じ。隣地へアピールできれば、もっと滋賀県が良くなるのでは。ネットワーク構築・発信力不足かと思う（未記入）
- ✓ 太陽光発電が右肩下がりになっている中、再生可能エネルギーに取り組んでいる方がたくさんいることが分かり、まだまだ消える火ではないと感じ、太陽光発電設備販売会社として、自信になった（滋賀、会社員）
- ✓ 再生可能エネルギーを販売する業者より使用する団体・法人・個人を増やすための方法（啓蒙）を考えてほしい（滋賀、会社員）
- ✓ おおつ環境フォーラムで、市民共同発電所の設置や省エネ診断、廃食油の取組など具体化に向けて努力しているが、市役所に熱意がなく、前進できていない。フォローをお願いしたい。今年度

は、市民共同節電所の設置を具体化したい（滋賀、団体職員）

- ✓ 滋賀県の8つの重点政策プロジェクトが、ドイツの「シュタットベルケ」のような事業モデルに繋がれば素晴らしい（兵庫、会社員）
- ✓ メリットが良くわかるようなPRを（滋賀、団体職員）
- ✓ エネルギーは、生活や社会システム、物をつくるといった色々な行動を支えるために必要となるものであり、自分たちの行動が本当に不必要、過剰でないかということから、教育を行う必要がある（滋賀、団体職員）
- ✓ 原発稼働（新しいエネルギーの普及にあたって、全国に新しいエネルギーが出回るまでのエネルギー維持に必要）（滋賀、学生）
- ✓ 関心のない人を取り込むこと（滋賀、会社員）
- ✓ 市民一人ひとりが再エネや省エネを意識して生活しなければいけないが、その意識を高めるためには、行政や企業の協力が不可欠。子や孫の時代を考えて、今の行動を決めなくてはならない（滋賀、会社員）
- ✓ 沖島の廃食油回収の取組が、県全体に広がると良い。平和堂などに回収ポストを設置してもらいたい。エコ住宅にリフォーム等する時に県からの補助金があると良い（滋賀、会社員）
- ✓ 南郷洗堰の水を小規模水力発電に利用できないか。琵琶湖の水を飲み水だけでなく、発電に利用することを強く希望する（滋賀、自営）
- ✓ 個人一人ひとりが心がけて取り組むことが必要だと考える（滋賀、行政・教育）
- ✓ 特に、中小企業に対する支援相談が大切になってくると思う。省エネを経営者、社員全員が参加する全社活動にしていくことが重要。中小企業者を孤立させない活動支援、ネットワークによるノウハウの共有等も重要（滋賀、未記入）
- ✓ このペースで、30年後、温室効果ガス△80%が達成できるのか心配。どうすれば県民全体に伝えられるのか、推進活動に取り組んでいる者として悩んでいる（滋賀、未記入）
- ✓ エネルギーやエコに関して興味を持っていない人が、少しでも関心を持てるように、簡単なことから段階的にエコ行動を紹介したりすること（兵庫、学生）
- ✓ 環境配慮を行うと自らの生活の水準が低下するという閉塞感が、SDGsの考えの普及を阻害していると思う。省エネ行動は将来世代のために我慢するのではなく、最終的に自らの利益に還るという意識を広く認識してもらうことが重要（滋賀、学生）
- ✓ エネルギーは環境・経済・福祉にも関連するので、県行政も横のつながりをつくって助成金等を考えると良い。上映会も良いが、電車やバスなどで県民がいつでも目に触れられると良い（滋賀、団体職員）
- ✓ まず広めること。するかしないかよりも、広く知らせ、知っている人ややっている人がじわじわ多くなったらよいと思う。市民としての「常識」に位置付くには本日の皆さんのように、にこにこやることか（滋賀、無職）
- ✓ 本日のような市民への発信（滋賀、主婦）
- ✓ 積極的に取り組んでいる方は、まだごく一部。多くの賛同があって広がるものであり、その方法・

方策を考えないと・・・(滋賀、主婦)

- ✓ 地域と意識のある業者等のつながり (滋賀、会社員)
- ✓ まずは活動・取組を知ってもらうことが重要で、難題。滋賀県が今回のようなサポートをされて大変良いと思う (滋賀、会社員)
- ✓ 自らができることを実践していくことが大事なのは (滋賀、行政・教育)
- ✓ 「自分ごと」に考えること (岐阜、学生)
- ✓ 様々な人と繋がっていくことが必要であると再確認した。自分が面白そうと感じたことから関わっていけば良いのでは (滋賀、学生)
- ✓ 草の根活動をどうやって関心のない人に広げるか (滋賀、行政・教育)
- ✓ SDGsの視点を県民それぞれに根付かせることが必要 (滋賀、会社員)
- ✓ 地域には課題や資源が散らばっており、いかに繋げて循環型社会を推進していくことが大切 (滋賀、未記入)
- ✓ まず地域づくりの整備が必要ではないか。その上で、各地域でこれからの新しいエネルギー社会について議論したほうが良いと思う (滋賀、団体職員)
- ✓ 風力発電を山間部 (県境) でできないか。県民に浸透させるには、マスコミの利用方法を考えることが大事 (滋賀、無職)
- ✓ 「自分ごと」として考えること、環境に配慮した企業活動が標準のルールとなること、市民、事業者、行政の連携した取組が必要だと認識した (滋賀、未記入)
- ✓ 無理なく楽しみながら取り組むこと、参加できることが大事。その仕組みづくりが必要。風力や小水力などの発掘・紹介も (滋賀、団体職員)
- ✓ 県民一人ひとりがエネルギーの地産地消に取り組むことの重要性を理解することが必要。エコは儲かる、エコは楽しいという意識を (滋賀、行政・教育)
- ✓ もっとたくさんの人に再生可能エネルギーのことを知ってもらう必要がある (大阪、会社員)
- ✓ 皆が繋がり、次の取組が生まれるようにしていくこと (滋賀、未記入)
- ✓ このようなイベントの継続開催 (大阪、エネルギー)
- ✓ 一人ひとりが知ったり、なるほどと思ったりするだけでなく、行動に繋がられる仕掛け・仕組みが大切 (滋賀、未記入)
- ✓ まずは自分が関心を持つことから (滋賀、主婦)
- ✓ この動画の中の人々が繋がるだけでも、次への一歩になると感じた (滋賀、行政・教育)